

AI (人工知能) 活用

コース番号：094-066

2025年

開催日時：2月21日(金) 9:30~16:30 (6時間) 募集締切：2月7日(金)

開催場所：ポリテクセンター山梨
定員：12名程度 (先着順)
推奨者：中堅層・管理者層受講料
3,300円 (税込)

コースの狙い

AI (人工知能) の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得します。

主な訓練内容

◎ AI (人工知能) の概要

(1) AI (人工知能) とは

- 人工知能AIの歴史と適用が広がり身近になった現状について解説する。
- IoTの普及でデータ量の増加、大量のデータを瞬時に処理するコンピューターの能力向上などAIが急激に進化した背景と理由について、AIの種類と技術動向を実例を見ながら解説する。

【演習①】自社の課題とAIが解決できることのイメージ演習

(2) 機械学習

- AIの基礎技術となる機械学習について物体を判断する時の事例のプロセス、また、機械学習の仕組みと手法、構築に必要なスキルについて解説する。

(3) ニューラルネットワーク

- 初心者でもわかるAIの基本的な仕組みとなるニューラルネットワークの基礎、また、仕組みや構造、機械学習、ディープラーニングとの関係性、さまざまなアプローチの具体例やディープラーニングの流れについて解説する。

(4) ディープラーニング/生成AI

- 第三次人工知能ブームを到来させた新技術「ディープラーニング」が登場した背景とその特徴、また、従来の機械学習との違いとディープラーニングの適用領域について解説する。
- 昨今話題の生成AIのしくみと出来ることを解説・実演し、ご自身の活用イメージを具体化させる。

【演習②】生成AIの使い道洗い出し演習

◎ AIの活用事例と今後の展望

(1) AIの具体的な活用事例紹介

- 人工知能と人間の対戦(囲碁、将棋)から見るAIの活用事例
- 既に実用化されているAIサービスとそのサービスレベルについて

【演習③】AIアプリケーション活用シミュレーション演習

(2) AI導入の課題

- 【導入編】・AI技術と開発人材の獲得 ・既存システムとの連携
- 【運用編】・導入後の運用について

【演習④】自社のAI導入課題とAI活用計画立案演習

(3) AIの今後の展望

- AI関連技術のロードマップ
～ディープラーニングの適用領域の拡大
～オープンプラットフォームの展開
- AIに置き換わる可能性のある職業

○ 訓練内容のココがポイント!

働く環境の変化や日本の現状、テクノロジーの最新動向を理解した上で、業務上の課題解決に活用できるAIについての知識習得を図ります。一方的な知識ではなく、双方向や演習を通じて、現場で実践活用できるようになるための演習を挟みます。また、理解および知識としての吸収をしやすくするために動画を使用した解説やツールの実演も行います。

実施機関 & 講師

株式会社 日本能率協会
コンサルティング

講師 仲村 健太氏



講師Profile

自動車メーカーにてITシステム開発プロジェクトリーダーなど多種のシステム開発や事業開発に携わり、2016年に独立して2017年にIoTガジェット研究所を設立。現在はIoTやAI、RPAなど先端技術に携わり、開発も行う。IoT開発やRPA導入に関する相談アドバイスやマッチング実績もある。

お申し込みは

※ 当HP内「令和6年度オープンコース第4弾受講者募集のご案内」の下部に、Excelで直接必要事項が入力できる「オープンコース第4弾受講申込書」があります。

